



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

令和 7 年 10 月 31 日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜 162
電話：551-0249

運動会 短距離走に思うこと

主幹教諭 中山 和彦



夕方17時を過ぎて窓の外を見ると、すでに薄暗くなっています。日に日に日没の時刻が早まっており、「秋の日はつるべ落とし」とはよく言ったものだと感じてしまいます。身の回りの木々も少しずつ色づいており、本格的な秋の訪れを実感します。

さて、先日の運動会には、多くの保護者の皆様、地域の皆様に御来校いただき、子供たちに温かい御声援をいただきました。本当にありがとうございました。天候の関係で平日に延期となってしまったことで御都合のつかなかった方も多く、心苦しく思いますが、そんな中でも子供たちは練習の成果を遺憾なく発揮し、一所懸命な姿を見せてくれました。

今年度も、全学年短距離走を行いました。低学年は50m走、中学年は80m走、そして高学年は100m走です。緊張した面持ちでスタートを待っている姿、周りの子に負けじとゴールを目指して懸命に走る姿、そして、ゴールした後にうかべる様々な表情、そんな子供の姿に心を動かされます。

実は今年度の運動会の計画にあたり、短距離走の順位をなくすという案を検討していました。多くの人が見ている前で走る速さを競い、1位から6位の等賞旗の前に並んで退場していくことは、児童にとってどのような価値があるのだろうかという視点や、正確な順位判定をするためにどうしても時間がかかってしまうという問題点があるからです。

児童の気持ちを聞きたいと思い、担当する委員会の児童に「運動会の短距離走、順位ありとなし、どちらがいい」と尋ねました。すると、全員が「順位があったほうがいい」と答えました。教員の担当部会および運営委員会で検討した結果、例年通り行うことといたしました。

短距離走を終えた子供たちは、「2位だったけど嬉しかった」「6位になっちゃったけど、最後まで全力で走れたよ」「来年は3位以内を取るために今から練習するんだ」と口々に言っていました。短距離走を通して、物事に全力でぶつかり、様々な思いを経験することが子供の心の成長につながるのだと改めて感じました。

来月下旬には学習発表会を行います。保護者の皆様には様々な面で御協力いただくこともあるかと思いますが、教職員一同、児童の成長につながる行事にしていきたいと思います。御協力、そして温かい御声援をよろしくお願いいたします。

